

岩倉市タウンミーティング（まちづくり百貨店）会議録

平成28年8月25日(木)

午後7時00分～午後9時10分

コミュニティカフェ かがよひ

出席者 まちづくり百貨店 16名

市長 副市長 総務部長 建設部長 協働推進課長 商工農政課長

市民協働グループ長 商工観光グループ 1名 広報情報グループ 2名

1 あいさつ

まちづくり百貨店代表あいさつ

市長あいさつ

2 懇談（要旨）

テーマ「まちの賑わいづくり、イベントを通じてつながるまちづくり」

【質問】 駅東の開発に力を入れてきたが、駅西がだいぶ廃れてきているので恋人が集えるような場になればいいと考えているが、駅西の開発について市の考えを聞きたい。

【回答】 駅西が恋人たちの集いの場として聖地化されれば若い人が集まり、岩倉が注目を集めることとなる。ただ、駅西を聖地化するにはそれなりのストーリーが必要となってくると考えている。ハード面、ソフト面からどう聖地化するかしっかりと検討しなくてはいけない。市では、現在、青年会議所に委託して若者政策ワーキングで岩倉市をどうPRしていくか検討中であり、話題づくりで終わることなく将来的に賑わいがずっと続くやり方を研究していきたいと考えている。

【質問】 若者政策ワーキングで駅西を聖地化する意見を伝えてもらえるということか。

【回答】 若者政策ワーキングでは、岩倉の冬のイベントが少ないことから冬にどんなイベントを開催するか考えている。冬の企画をしっかりと決めた後に今回の意見を伝え、検討していく。

今のところ市としては、駅西をどうしていくかという考えは持っていない。

【質問】 ポケモンGOで鶴舞公園が若い人で賑わいすぎて逆に困っているらしい。行政として人が賑わいすぎるのはどのように考えているか。

【回答】 度合いによる。夜中に集まるのはどうかと思う。市役所付近にもポケモンGOのスポットがあるが夜遅くにウロウロ出歩くのは危ないと思う。

賑わいは、本人だけが騒いで周りの住民に迷惑になるようなものではない。みんなが楽しめるようなバランスをつくるのが大事。

【質問】 一宮駅周辺がiビルができたことで、居酒屋の客も増えており街全体が活性化したように思う。岩倉の駅西ももっとなるとかならないか。

【回答】 今あるものをどうやって賑わいに結びつけていくかが大切になる。商店街の人たちが何か事業を始めたり、企画に協力してくれたりすることから始めて、それを常態化させていくことが必要だと思う。

【質問】 市民の民意的には、住みやすいまちか賑わいのあるまちかどっちの意見が多いか。

【回答】 二者選択の話ではないように思う。住宅地なりの賑わいというものがあると思う。名古屋駅や栄のような賑わいは難しいと思うが、一時的でも祭りのときのような地域の盛り上がりは魅力があると思う。

また、さきほども言ったが若者政策ワーキングで冬のイベントを企画しているが、企画する側が参加者の気持ちになっていないと空回りしてしまう可能性があるので、小さなことを少しずつ検証して行って、参加者の反応を見たり、協賛してくれる人を増やしていくことが必要だと思う。

【意見】 岩倉は鯉のぼりが有名なので、桜まつりのときに恋が昇るように恋昇神社をつくり、お守りをつくったが、周知がしっかりとされなくてうまくはいかなかった。恋昇神社は物語になるのではないか。

【回答】 ストーリーが大事なので、なぜ駅西に神社があるのかしっかりと理由をSNS等で拡散していく必要がある。ただ、来てくれる人たちがしっかりとその理由に納得してもらえないと一過性で終わってしまうし、もちろん公共の場にそのようなものを作ることができるのかという問題もある。

【質問】 春には桜まつりでコスプレをやって100人くらいの人が集まった。それはどう思うか。

【回答】 コスプレはすでに市民権を得ているものだと思う。軽トラ市でコスプレをしている人を初めて見てとても驚いたが、最近は理解ができるようになってきた。最初に見る人は驚くかもしれないが、徐々に見慣れて個性や表現のひとつであると理解する人も増えてくるのではない

かと思う。

【意見】 4～5年前だが、「人の駅いわくら」という団体があり、岩倉の歴史についての活動やマルシェなど活動内容が面白かった。岩倉の振興に関する具体的な事業を実施している団体があるといいと思う。

【回答】 ふるさと雇用という補助金が終了したときに、人の駅いわくらをやっていたNPOが補助金がなくてはやっていけないという理由で残念ながら中止になってしまった。現在では、軽トラ市をやっている岩倉観光振興会に委託して岩倉を盛り上げようとしている。軽トラ市もマンネリ化しているので、今後は若い世代を対象としたマルシェ的なこともやっていけたらいいなと考えている。

また、ネットでは一品物が流通している。手作りのものをワゴンで販売するなど新しい企画をすれば若い子やお母さん世代がきてくれるのではないかと思う。同じことをずっとやり続けているとだんだんとダメになる。続けることは大切だが、ニーズを探るために少しずつ工夫を凝らしていくことが長く続けるためには大切なことである。企画を考える時は、来る人の気持ちになってほしいと思う。SNSで拡散することも大切。

【意見】 人の駅いわくらでやっていたことをもう一度検証することが必要なのではないかと思う。

【質問】 新城でリアカーを引いて物を販売しているところからヒントを得て軽トラ市をはじめたが、軽トラ市ではリアカー販売ができない。主婦が行ってゴザを広げて物を販売することもできない。軽トラを所有していないと販売できなく、気軽さがない。

【回答】 軽トラ市という枠の中だけでやろうとするとできないが、そこから抜け出して新たにマルシェ的なものを行うことが必要となってくる。現在、岩倉観光振興会から企画を提案してもらっているので、市としても検討しているところである。

【意見】 何か新しいアイデアが出たときには、若い人たちも巻き込んで事業を展開してほしい。

【回答】 21 大社のお寺を回るといふ企画や岩倉の夜という企画からヒントを得てポールウォーキングやランチスタンプラリーは始まった。若い人たちのアイデアはすでにさまざまところで活かされている。

【質問】 シティプロモーションはどういったものか。

【回答】 転出を防ぎ、転入を増やすために岩倉市をPRをしていくことで、極端に言うと博報堂に市を宣伝してくれということである。

岩倉に住んでいる人は岩倉が住みやすいということは知っているが、

愛知県全体から言うと岩倉はまだまだ知名度が低い。政策創造研究プロジェクトで一度アンケートを取ったことがあるが岩倉を知らないという意見が多い。若い世代の人が住居を探す際に選択肢のひとつとして岩倉市を入れてもらうところにまずは力を注がなければならない。

【意見】 岩倉が小さいということをもっとアピールしてはどうか。

【回答】 コンパクトシティとして交通の便がいいとか自転車で市内どこでも行けるとするのはシティプロモーションの中で当然アピールしていくところである。

【質問】 住む満足度など全国的な指標はないのか。

【回答】 住みやすさランキングというものがあるが、岩倉はいまひとつ。というのも、住みやすいと感じている人が多いなど主観的なことは評価に入れられず、一人当たりの公園の面積の広さなど客観的なデータしか評価にはならない。

【意見】 小さい子どもがいるが岩倉には大きな公園がなく、いつも一宮の公園に行っている。市内で大きな公園があれば、子育て世代にとって大きな魅力のひとつになるのではないか。

【回答】 岩倉市には大きな公園やプールがないので住みやすさランキングの順位は下がるが、そのことをシティプロモーションの中で一般の若いお母さん世代の方々に意見を聞くと、「岩倉市内だけで考えているからランキングが低くなる。もっと広域的に考えれば岩倉はちょっと車を走らせるだけで、公園もプールもある。市内だけで考えるのをやめたら」という意見をもらった。評価は行政区域の中でしかされないので、順位は下がるが住みにくいというわけではない。

【意見】 お母さん方からそういう意見が出ていることをもっと出せばいいのではないか。

【回答】 シティプロモーションの中でこれからどんどん出していく予定である。

【意見】 岩倉市の中で子どもが気軽に行けるような大きな公園がひとつくらいあってもいいのではないかと思う。

【回答】 岩倉は公園の大きさは小さいが、数が多く、近所にあって大変便利だとお母さん方から意見をもらっている。岩倉市は分散型であるが、当然そのメリット、デメリットはある。中央に集中させると便利だが、何かするには、その場所に行かないといけないというデメリットもある。

【質問】 シティプロモーションと商工振興は関係がないのか。

【回答】 シティプロモーションは市の宣伝のため、商工振興とは関係がない。

- 【質問】 い〜わくんを今後どうしていくのか、中・長期的な展望はあるか。
- 【回答】 これまではマスコットキャラクターとして観光振興に携わってきた。ゆるキャラブームがいつまで続くかは分からないが、い〜わくんは子どもたちに人気があるので、当面の間はこれまでと同様の活動をしていく。また、シティプロモーションの事業の中でどうやってい〜わくんを活用していくか検討していく。
- 【意見】 小学校高学年くらいになるとい〜わくんは人気がない。理由を聞くと面白くないから。何か人気が出る方法はないか。
- 【回答】 年を重ねればい〜わくんから離れていくのは仕方がないと思う。ただ子どもは新しく生まれてくるので、小さい子どもたちに人気があればいいと思う。
- 【意見】 い〜わくんは意外と20代、30代、40代の女性に人気があって子どもだけから人気というわけではないと感じている。その世代をもっと開拓していくのもいいかもしれない。
- 【意見】 い〜わくんの人気を利用して商売をしようとする強かな人間がいない。そっちの方が大切な気がする。
- 【回答】 くまもんがいい例である。くまもんをお土産などで商品化することで一気に全国へと広がっていった。市ではなく、熊本県が取り組んだことも大きい。
- 【質問】 い〜わくんはキャラ設定はあったか。
- 【回答】 5歳の男の子という設定ではあるが、性格は特に決まっていない。
- 【質問】 まちづくり百貨店には「い〜にゃくん」というキャラがいるが、イベント等でい〜わくんと絡むことはできるか。
- 【回答】 絡むことは問題ない。JAのマスコットキャラクターである「愛ちゃん」ともよく絡んでいる。
- 【意見】 スーパーマリオというゲームが好きでよく遊んでいるが、マリオにはワリオという対になるキャラがいることがよりゲームを面白くしているところだと思う。い〜わくんも対になる「わるい〜わくん」を作ってみてはどうか。
- 【回答】 い〜わくんを作ったときに、伊那市に「イーナちゃん」というキャラがいて交際を申し込んだが振られてしまった。
- 【意見】 4〜5年経っているので、ぜひもう一回トライしてほしい。新たなストーリーやキャラづくりができるかもしれない。
- 【質問】 い〜わくんのデザインは店の創意工夫で商品等に使用しても問題はないか。
- 【回答】 個人で使用する分には自由に使ってもらって問題はない。商品化し

たい場合は、何にどのように使用するかなど明確にし、申請してもらえれば使用することができる。

【質問】 桜まつりの時に、市民や商店はどのような関わり方があるか。もつとまちに波及効果をもたらすことはできないか。

【回答】 市制 40 周年から市と商工会で別々に作っていたパンフレットを一本化した。また、岩倉の店でお金を落としてもらうために、パンフレットに割引サービスなどをつけた。平成 25 年度からスタンプラリーを始め、参加賞をもらうにはどこか一店舗市内のお店を回ってもらう事業も開始した。また、平成 26 年度からは八剣憩いの広場の駐車料金を 700 円から 1,000 円に上げ、その内の 300 円を市内の参加店舗で使えるクーポン券にした事業も実施した。平成 27 年度からは、桜まつりの団体長会議にまちづくり百貨店の代表者にも参加してもらっている。桜まつりのパンフレットに掲載できるお店は商工会に加入していなければならないという決まりもあって、市では紹介できない部分もあったが、「いわくら・ひと・さくら・まつり」ではそれ以外の店舗も紹介することができるので、お互いに連携して桜まつりを盛り上げていきたい。

団体長会議に参加してもらった時に内容が決まっていないと、広報やパンフレットに掲載することができない。1 月下旬までに企画をかためてもらおうとパンフレットや広報紙に掲載することができる。

【質問】 スタンプラリーはどのくらい配ってどのくらいの人が利用しているのか。

【回答】 岩倉駅で配っており、チラシは 1 万枚作っている。3 つスタンプを押して参加賞をもらった人が 859 人、ガラガラ抽選を行ったのが 596 人、スタンプを全部押して市内で使える商品券に申し込んだのが 443 人いた。

【質問】 地下道にまちづくり百貨店のチラシを置かせてもらうにはどうしたらよいか。

【回答】 協賛事業であるので、置きたいものがあれば言ってもらえればいわくら塾がいるところに置かせてもらうようにする。

【意見】 スタンプラリーの台紙が応募券になるが、子どもが持ち帰りたいたい人がけっこういた。持ち帰れるような仕組みになると満足する人が増えるのではないか。

【回答】 持ち帰ることができるか検討してみる。

【意見】 ワーキングホリデーで台湾に行っていたが、台湾の人は私たちが知らないような観光地が好きで、犬山城に行く人もけっこう多い。犬山に行く際には岩倉は必ず停車する駅なので、岩倉で途中下車してもら

うようなイベントがあればいいと思う。外国人は史跡公園のような日本らしさのある部分が特に好き。

【回答】 桜まつりがここ数年、海外から来たお客さんが増えている。その理由のほとんどがSNSである。訪れたお客さんに話を聞いてみたら、大阪に行って、岩倉にきて、御殿場に行くと言っていた。名古屋城や犬山城よりも岩倉の桜を見にくるといのはすごいことだと感じている。

【質問】 外国から来る人というのは、SNS以外で市のホームページも見たりしているのか。

【回答】 市のホームページでは現在6カ国語に対応しているので、いつ、どこでやっているかという情報をホームページからも得ていると思う。

【質問】 例えば台湾の都市と岩倉市が友好交流協定を結ぶことはできないのか。

【回答】 できないことはないが、何かきっかけがないと難しい。岩倉は大野市と友好交流都市を結んでいるが、もともとは市民同士での付き合いだった。また、交流するためにはお互い行き来しないといけないためそれなりのお金もかかる。岩倉の桜まつりの時には向こうからバス3台で来てもらい、大野市の紅葉まつりの時にはこちらからバス3台で訪れている。

【質問】 市民参加条例にある政策提案制度について詳しく教えてもらいたい。

【回答】 平成28年4月1日より市民参加条例が施行されて、その中で政策提案制度という制度が条例化された。制度として2つの制度があり、ひとつめは市民の皆さん10人の連署により市全体に関わることについて政策として提案できる制度で、どういった方法でどんな効果があり、どれくらいの費用がかかるかといったことを具体的に記載してもらい、市に提出することができる。もうひとつは、行政からテーマを投げかけて市民の皆さんにテーマについての提案をいただく制度がある。皆さんにとっては前者の制度の方が身近なものであると思う。今回のタウンミーティングでもさまざまな提案がすでに出ているので、ぜひ提出してもらいたい。提出のあった提案については、検討し回答することになっている。

【質問】 すでに提案は出てきているのか。

【回答】 1件の提出があった。近々委員会を立ち上げ、内容について検討をしていく。提出のあったものについては、今後どのような内容であったか公開する予定である。

【質問】 市が単独で行うものだけではなく、団体と協働で行うような政策で

も問題はないのか。

- 【回答】 もちろん団体との協働のものであっても問題はない。ただ、市全体にとって公益性のあるものでなくてはならない。願望だけではなく、具体的なアイデアを様式に記載してもらう必要がある。
- 【宣伝】 「いわくら・ひと・かぼちゃ・まつり」では親子で仮装し、ハロウインのように合言葉を言うとお菓子がもらえたりするなど街中が盛り上がるイベントとなった。今年はイベント最終日に市民プラザでお化け屋敷もやる予定。10月29日、30日で開催予定。
- 【意見】 ミニミニコンサートが先日開催のコンサートで終わってしまった。理由はみどりの家が指定管理になったからだと聞いたが、今まであってよかったものを守っていくのも大切ではないか。
- 【回答】 出演者の固定など指定管理になる前から20年を節目にやめてはという意見もあった。市としては、指定管理になったからやめたというわけではない。
- 【質問】 指定管理になったことで仕組みが変わってしまいトラブルが多くなった印象はある。小牧の児童館は指定管理になっていい方向に向かっているが、岩倉は小さなまちなので、職員と市民が顔なじみで行政サービスに温かさのあるまちだった。その良さは活かしてほしい。
- 【回答】 問題があれば、指定管理の業者とはその都度しっかりと話し合いをしていく。個々の問題について指定管理業者は気付かないところもあるので問題点は指摘してもらいたい。
- 【意見】 以前ペットボトルのフタを集めるリサイクルがあったが、ボランティアの人が手を引き、その後アルミ缶を集めるリサイクルが始まった。今、アルミ缶はビールやコーヒーの缶くらいしかない。子どもの環境意識を育てるためにリサイクルセンターに行けばいいというの聞いたことがあるがそれだけではなかなか難しいと思う。ペットボトルのフタのような身近にあるものを分別することでリサイクルの意識が育つのではないだろうか。
- 【回答】 リサイクルする心、環境に対する意識を育てるために教育的な配慮は必要になる。今回の意見は担当に伝える。

副市長あいさつ

以上